

日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



ニュース

2021年7月26日

8月号 NO. 100

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子

連絡先：議員団控室（市役所内）

TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

現在の公園の再整備は住民合意で

川添1丁目にある川添公園の一部に、消防署の富田分署が移転し、今の公園は北側に移転する計画です。今年度は実施設計、来年度に整備工事です。6月25日の本会議で、きよた純子市議は、川添公園の充実にについて質問しました。

川添公園として整備される前の植木団地は、1975年に富田園芸協同組合に無償で貸しだされるなど、同和对策事業の一環として運営されてきました。

2005年に植木団地の一部が返還されて、地域の要望だった公園ができました。きよた議員は、「川添公園の充実に特別な思いを持ち、公園の手入れをしてきた人がいることを認識しているのか」と質問。

市は、「地域の方の協力で、多くの人に親しまれ、賑わいのある公園となっている」と答弁しました。

また、公園の整備計画が示された3月議会以降、高槻市に多数の意見が寄せられ、市は、

6月に4回、説明会を開催。約150人が参加しました。きよた議員は、住民が育ててきた公園内の花などは新しい公園に活かすこと。川添公園の周辺を困う形で、遊歩道を作つて欲しいなどたくさん要望があったと指摘。「住民の意見を活かすべきた」と主張。市は「地

計画のない2万1千㎡（甲子園球場の半分）は子どもや高齢者のために使わせましょう

計画では、面積は従来の公園8,500平方メートルと同じで、公園と隣接している約2万1千平方メートルの植木団地跡地の活用は「検討中」です。きよた議員は、「植



域の方の意見も参考に、地域に親しまれる公園となるよう整備に取り組む」と答弁しました。

こともあると認識している。施設の配置を工夫する」と答弁。きよた議員は、みんなが快適に過ごせる公園にするには、お互いの距離と距離が十分にとれる広さが必要で公園の拡大が大事と訴えました。

引き続き、住民の意見を良く聞くよう求めます

木団地跡地をただ売却するだけで、公園の充実に使われないのはと心配されているが、地域の充実のために活用することも検討するのか」と質問。市は「今後も厳しいと想定される財政状況や地域をはじめとする様々なご意見を踏まえ、地域及び全市民的観点から適切に検討する」と答弁しました。

今の公園は、毎朝のラジオ体操、グラウンドゴルフや散歩、子ども遊び場など多くの人に利用されています。きよた議員は、子どもも、高齢者も、気兼ねしながら、利用している状態を示し、「植木団地跡地を使って公園全体の面積を拡大することが必要」と求めました。市は「グラウンドは利用が重なるから」と言いますが、活用計画のない植木団地部分を、さらに地に関する予算は、すでにしています。空き地をグラウンドとして使うのに、それほどお金はかかりません。グラウンドゴルフなど高齢者が利用する場所、子ども達が遊ぶ場所と分けられるよう、土地の確保をするよう求めました。これから、川添公園の拡大・整備のために、地域の意見を聞くよう求めていきます。

住民の運動で、植木団地跡地は公園の拡大のために使わせましょう!!



1015時間と70時間増加。また、漢字の字数は、2002年は小中で2,951字でしたが、現在は3,165字と214字も増えました。



その1…発達段階に合わないカリキュラム
そのため、小学校では1日2つか3つの漢字を習いますが、書き取り練習が時間内に間に合わず、文章を作る子どももいます。漢字を覚えるも書いたり読んだりする所までいかなければ、本当の学力は身につけません。

6月議会 一般質問

どの子にも 確かな学力の保障を

「勉強がおもしろい」の回答が 世界11か国中、日本は最下位

スプリックス基礎学力研究所が、世界11ヶ国を対象にした調査では、勉強をおもしろいと思っているのは11ヶ国全体で8割に対し、日本の子どもは6割未満。テストを好きではない理由として、「結果が悪いから」、「おもしろくないから」が、平均より上回っています。

勉強嫌い増やす原因

その1…発達段階に合わないカリキュラム

小学6年の年間総授業時数(平均)は、2002年度945時間、2020年度1015時間と70時間も増加。また、漢字の字数は、2002年は小中で2,951字でしたが、現在は3,165字と214字も増えました。

その2…大阪府の学力テスト

大阪では中学校の「チャレンジテスト」の結果が1年生から受験の評価につながります。チャレンジテストは、高校受験の内申点につながり、中1から子どもを追いつめています。

高槻市に提案

子供に負担が大きいテストはやめる

府は今年から新たに小学5、6年生を対象の「すくすくウォッチ」というテストを実施。小学1年生から4年生や5年生までならった国語、理科、算数、社会など教科横断型のテストがあり、とても難しい問題です。

子どもの学習意欲を高める教育めざそう

学校では、難しい学習でも、友達同士で励ましながら学んでいます。



学力だけでなく、居場所、自分らしさなどを見出し、自信にしていくなど、人格形成の場です。

国際学力調査では常に上位のフィンランドの年間授業日数は日本と比べると40日ほど少なく、経済協力開発機構(OECD)加盟国の中で最も少ないとされています。夏休みは6月中旬から8月中旬までの2カ月間と長め。小学生の間は宿題やテストもほとんどありません。量のつめこみではなく、学ぶ楽しさを大切にした教育が必要です。



小学6年生は、全国学力テストの国語、算数、アンケートに加えて府の教科横断型のテストがあり、そのあとに府の91問のアンケートも。多くは、すくすくウォッチと、全国学力テストを同じ日に実施したため、朝から5時間目までかかるなど、子どもへの負担が大きいテストです。

市政相談

電話でご連絡ください
676-5068

きよた純子

～お気軽にご相談を～

※留守の場合は必ず、留守電話に氏名と連絡先の録音をお願いします。